

# 講習会「静電気障災害の実例と対策」

主催：(一社) 静電気学会  
<http://www.iesj.org/>

～工場災害・粉体輸送問題・半導体障害の実例と対策，リスクマネジメント，静電気基礎～

開催日時：2019年11月12日（火） 10時 00分 ～ 16時 30分

開催場所：東北大学東京分室（東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー 10階，東京駅八重洲北口2分）

（詳細はこちらを参照 <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/bun/bun.html>）

受講料：正会員・賛助会員10,000円（賛助会員：2人目からは1名につき5,000円），準会員5,000円，協賛会員15,000円，  
非会員20,000円

趣 旨：静電気にお困りの方や関心のある技術者，管理監督者，研究者等を対象に，静電気による工場災害や粉体輸送における問題，  
電子部品障害などの実例と対策を解説します。さらに，静電気障災害を予防するためのリスクアセスメント手法，  
静電気の基礎や計測法について解説します。

## プログラム：

9:30 受付

10:00～11:00 「災害防止のための静電気基礎」

講師：松原 美之 氏

（東京理科大学・教授，元 消防庁消防研究センター所長）

- ・静電気とは
- ・静電気を原因とする火災・爆発事故
- ・火災等事故に関連する静電気現象
- ・静電気測定技術
- ・防止対策

11:10～12:10

「粉体輸送設備のサイロ内で発生する静電気帯電・放電現象」

講師：崔 光石 氏（労働安全衛生総合研究所・首席研究員）

- ・静電気放電による粉じん爆発・火災の防止の概要
- ・実規模サイロに投入する粉体の静電気放電の可視化・危険性分析
- ・連続投入された粉体(1トン)の静電気放電の突起物依存性

12:10～13:10 ランチ交流会（軽食付き）

- ・静電気学会会長挨拶

13:10～14:10 「電子デバイスの静電気対策」

講師：岡野 一雄 氏（職業能力開発総合大学校・名誉教授）

- ・電子デバイスの静電気障害
- ・電子デバイスの除電技術
- ・静電気対策の展望

14:20～15:20 「静電気安全の基礎－リスクアセスメントのために」

講師：大澤 敦 氏（労働安全衛生総合研究所・統括研究員）

- ・リスクアセスメント
- ・静電気現象の基礎
- ・静電気災害防止とリスクアセスメント
- ・静電気リスクアセスメント手法
- ・静電気デモンストレーション

15:30～16:30 「静電気の基礎と計測」

講師：山野 芳昭 氏（千葉大学・名誉教授）

- ・静電気の発生機構
- ・電荷、電圧、電流
- ・電荷の発生、減衰、中和
- ・静電気放電の基礎
- ・静電気の測定原理と測定器の例

※ 講演時間中に質疑応答を行いますが，休憩時間・ランチ交流会においてもご質問などを受け付けます。

お申込み方法：下記事項をEmailもしくはFAXにて静電気学会事務局までお送り下さい。

行事名：講習会「静電気障災害の実例と対策」（申込みの際は，「行事名」をメールのタイトルに入れて下さい）

ご所属先：

役職：

部署等：

TEL：

住所：〒

FAX：

氏名（ふりがな）：

E-mail：

お支払い方法：

銀行振込（振込予定日 月 日），当日現金払い

申込区分：正・賛助会員10,000円 賛助会員2人目以降5,000円

準会員5,000円 協賛会員15,000円 非会員20,000円

通信欄：

協 賛：IEEE IAS Japan Chapter，安全工学会，応用物理学会，化学工学会，高分子学会，繊維学会，電気学会，電子情報通信学会，日本印刷学会，  
日本エアロゾル学会，日本液体微粒化学会，日本火災学会，日本画像学会，日本機械学会，日本混相流学会，日本繊維学会，  
日本電子部品信頼性センター，日本塗装技術協会，日本塗料工業会，プラズマ・核融合学会，粉体工学会，放電学会

注意事項：◎定員50名（定員になり次第締め切ります）申込み締切11月4日 締切後も席に余裕がある場合は受講できますので，事務局までご連絡下さい。

◎受講料は，銀行振込もしくは当日現金にてお支払い願います。銀行振込の場合，申込み後に振込先をご連絡します。振込手数料はお客様がご負担下さい。

請求書・領収書等が必要な場合はお申し付けください。◎非会員・協賛会員の方で静電気学会会員に申し込まれる場合は，会員価格で参加できます。

通信欄に入会希望と記載願います。◎ご記入いただいた個人情報は，本講習会の事務連絡や情報案内に利用いたします。

◎お申込み後のキャンセルはできません。◎お申込み後2週間以上連絡が無い場合はご連絡願います。